

事業者名: コウサ生コンクリート 株式会社

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

コンクリートの素材・材料にこだわって、「コンクリートの長寿命化」に貢献する企業を目指す。コンクリートの長寿命化が熊本の建造物の長寿命化につながる。将来的にそのことが、無駄な資源を使うことなく環境負荷を減らすことにつながるよう目指していく。また、コンクリートの製造過程においても環境負荷の削減を意識する。人の面においては、従業員がより長く、安心して働ける職場環境を作る。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	生コンクリートを製造する際に良質な材料を使うことにより、使用するセメントの量を減らす。セメント量が減ることにより、二酸化炭素の削減に繋がる。また、良質な材料を使うことで、コンクリートの劣化を防ぎ、長寿命化が図れる。	同一強度のコンクリートの中に含有される製品毎のセメント量を自社の現状値は2021年は254kg/m ³ だが、3年間で単体量10kg/m ³ 減少させる。
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	生コンクリートの製造過程において、排出された水を再利用することにより、環境負荷を減らす。	再利用水の使用率を3年間で30%増加させる。
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	年齢を問わない中途採用の実施、また年齢を問わず、安心して働ける職場を作る。	年齢を問わない中途採用の実施。2022年から2025年の3年間で1人採用(グループ会社で5人採用)

<パートナーシップ>

品質の高い生コンクリートを出荷するために、材料を提供してもらう卸業者にも同じ意識を持って品質の高い材料を提供してもらう。生コンクリートを作る関連会社の工場(肥後商事グループ:肥後商事(株)・旭生コンクリート工業(株)・住吉生コンクリート(有)・田浦生コン(有)・若草生コンクリート(株))と連携して、環境負荷を減らし、品質の高いものを作る意識・コンクリートの出荷前の品質チェックの徹底を行う。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日:令和 年 月 日)

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
□ 環境 □ 社会 □ 経済			
□ 環境 □ 社会 □ 経済			
□ 環境 □ 社会 □ 経済			

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。
- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。